

2023年1月 | 第72号

響 KOE

Himeji Central Hospital
地域連携だより



新年のご挨拶

理事長 東 靖人



皆様あけましておめでとうございます。本年はポストコロナの年になると思われます。今のオミクロンでは重症化は稀ですが、当初のデルタ株での重症例は、ポストコロナで受け入れになりましても肺炎の影が強く見られる方が多く、ひどい病気だなと思われましました。ワクチンも治療薬もない状態で、恐怖感を感じながら対応をさせていただいた事を思い出します。

さて、医療のポストコロナはいかがでしょうか？コロナ関係の補助金は大変ありがたいものでした。マクロでは医療費は、令和2年度は概算医療費のコロナ禍による対前年度減少を補う以上の補助金収入があり、令和3年度は実績から概算した医療費（44.7兆円）に繰越分を含み、予算措置されている補助金2.1兆円+αを足した金額は47兆円程度と見込まれます。これによって、医療機関の経営実態はマクロでは、近年になく好調と言えました。そう言いましても、これは主としてコロナ感染症の入院対応をされていた医療機関の話で、私たちのような民間病院やかかりつけ医のレベルでは、とても補助金のありがたみを楽しんでいるといったものではなく、厳しい状況であることはいまでもありません。今年はこれらの補助金削減が行われることは必至です。また、コロナ禍で遅れていた地域医療構想の早急な実行が行われるものと思います。その主なテーマは病床削減で、私たち民間病院のもつ一般病床がターゲットと思われます。すでに懐を探りにくる目論見が散見されておいます。なんとかこれらの荒波を乗り切って医療のポストコロナは、デルタ株後遺症でなく、軽症完治のオミクロンタイプになるよう希望します。「今、あなたに必要な病院へ」を実現するために、本年も皆様方のご指導を賜ってゆきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いまします。



新任医師
紹介

放射線科 まつもと みき
松本 美紀



専門領域

画像診断

所属学会

日本医学放射線学会
日本核医学会

着任に
あたっの抱負

ご縁があって、2022年11月1日に着任しました、放射線科の松本美紀です。これまでは愛媛県、香川県、高知県の四国の病院に勤務していました。まだまだ姫路のことは詳しくありませんが、皆様によくしていただいています。

専門は画像診断です。地域医療に貢献したいと考えています。よろしくお願ひします。

フレッシュ通信

医療ソーシャルワーカー

藤田 彩乃さん

(MSW)



医療ソーシャルワーカーとして、患者さんやご家族を福祉の立場からサポートしています。入院患者様の支援だけでなく、外来や救急診療での困難事例に早期介入することもあり、院内外との連携を担うことが多く迅速な対応や解決力が求められます。あっという間に1日が過ぎていきますが、先輩方に支えられながら日々励んでいます。

退院支援を行い、患者さんにご家族が笑顔で退院されたときはやりがいを感じます。今後も知識や面談技術を身に着けたいです。

オンライン資格確認を導入いたしました

オンライン資格確認のシステムを導入いたしました。

マイナンバーカードを保険証のかわりとして利用できるようになります。

顔認証付カードリーダーを病院本館受付、病院本館救急受付、附属クリニック棟受付に設置しており、いずれの受付でも資格確認が可能となっております。

*マイナンバーカードの保険証利用には事前の登録が必要です。

